

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 7 年 7 月 3 日(2025.7.3)

【公開番号】特開 2024-35394(P2024-35394A)
【公開日】令和 6 年 3 月 14 日(2024.3.14)
【年通号数】公開公報(特許)2024-048
【出願番号】特願 2022-139828(P2022-139828)
【国際特許分類】

H 0 2 K 7/06(2006.01)

10

F 1 6 H 25/22(2006.01)

【F I】

H 0 2 K 7/06 A

F 1 6 H 25/22 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 25 日(2025.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ステータと前記第 1 ステータに対して中心軸の軸回り方向に回転可能な第 1 ロータとを有する第 1 モータと、

前記第 1 モータに対して前記中心軸の軸方向に離隔して配置され、且つ、第 2 ステータと前記第 2 ステータに対して回転可能で前記第 1 ロータの前記中心軸と同軸に配置される第 2 ロータとを有する第 2 モータと、

前記第 1 ロータと前記第 2 ロータとを前記軸方向に貫通し、

30

前記第 1 ロータから前記第 2 ロータの反対側に向けて前記軸方向の一方側に突出し且つ前記軸方向に延びるスプライン溝部が外周に設けられる第 1 部分と、当該第 1 部分に対して前記軸方向の一方側に設けられ前記軸方向に延びる第 2 部分と、前記第 2 ロータから前記第 1 ロータの反対側に向けて前記軸方向の他方側に突出し且つ外周に雄ねじ部が設けられる第 3 部分と、を有する軸部材と、

前記軸部材における前記第 1 部分の前記スプライン溝部に沿って前記軸部材を前記軸方向に案内させ、且つ、前記第 1 ロータと共に回転して前記軸部材を前記中心軸の軸回り方向に回転可能なスプライン外筒と、

前記軸部材における前記第 3 部分の前記雄ねじ部と噛み合う雌ねじ部が設けられ、且つ、前記第 2 ロータと共に回転して前記軸部材を前記軸方向に移動可能なナット部材と、
軸受と、

40

前記第 2 部分の外周側に前記軸受を介して取り付けられ、且つ、前記軸受により、前記第 2 部分の回転力の伝達が遮断されている取付部材と、

を備える、

アクチュエータ。

【請求項 2】

前記軸受の回転中心軸は、前記第 1 ロータの前記中心軸と同軸である、

請求項 1 に記載のアクチュエータ。

【請求項 3】

前記中心軸の軸回りの周方向に沿って延び、且つ、前記第 1 モータおよび前記第 2 モー

50

タを収容する筒状のモータハウジングを備える、
請求項 1 又は 2 に記載のアクチュエータ。

【請求項 4】

前記軸部材は、前記第 1 部分を含む第 1 シャフトと前記第 2 部分を含む第 2 シャフトとに分割され、且つ、前記第 1 シャフトと前記第 2 シャフトとがねじ締結によって連結される、

請求項 1 又は 2 に記載のアクチュエータ。

【請求項 5】

前記第 1 モータ及び前記第 2 モータは、ダイレクトドライブモータである、
請求項 1 又は 2 に記載のアクチュエータ。

10

20

30

40

50